



アルコール検知器協議会
JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONSORTIUM

アルコール検知器協議会
第8回定時総会
2022年4月22日(金)



< 式次第 >

- 1.総会開催宣言 13:00～13:05
2.会長の挨拶 13:05～13:15 会長 谷田 千里 (株式会社タニタ)
3.報告・連絡事項 13:15～13:20 会員企業の紹介など

4.決議事項 13:20～14:30

- 第1号議案 決議事項：2021年度会計報告および監査報告内容の承認
2022年度予算の承認
第2号議案 決議事項：2021年度～2023年度の活動計画（案）の承認
第3号議案 決議事項：業務委員会2021年度活動実績の報告および承認
技術委員会2021年度活動実績の報告および承認
第4号議案 決議事項：業務委員会2022年度活動計画および予算（案）の承認
：技術委員会2022年度活動計画および予算（案）の承認
幹事会からの報告事項：幹事会メンバーの引継ぎについて

5. 質疑応答 14:30～14:45
6. 閉会 14:45

◆第8回定時総会后、15:00～ 業務・技術合同委員会の開催を予定しております。
(総会終了後～約1時間30分程度)



第8回定時総会 第1号議案

- ・ 2021年度会計報告および監査報告内容の承認
- ・ 2022年度予算の承認

2022年4月22日

日本アルコール検知器協議会 第8回定時総会



2022年4月20日に会計監査を実施

2022年4月20日

2021年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）会計監査報告ならびに収支決算報告

2021年度 収支決算報告書
【貸借対照表】

(単位：円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金	0	未払金	0
預金	2,745,737	繰越金	2,745,737
未収金	0		
合計	2,745,737	合計	2,745,737

【収支決算書】

(単位：円)

収入の部			支出の部		
勘定科目	予算額	決算額	勘定科目	予算額	決算額
①前期繰越金	1,075,737	1,075,737	①会議費	700,000	18,424
②年会費	1,570,000	1,570,000	②広告宣伝費	1,000,000	776,380
③入会金	100,000	100,000	③外注費	300,000	179,161
④雑収入	0	0	④工具器具備品	500,000	418,000
⑤受取利息	0	0	⑤通信発送費	50,000	11,308
			⑥旅費交通費	100,000	25,050
			⑦支払手数料	10,000	2,090
合計	2,745,737	2,745,737	⑧消耗品費	50,000	9,076
			⑨雑費	35,737	0
			合計	2,745,737	1,439,489
			⑩次期繰越金		1,306,248

会計：サンコーテクノ株式会社

坂口正一



【会計監査報告】

2022年4月20日に株式会社サンコーテクノにおいて、2021年度の会計について監査を実施した。
監査の結果、貸借対照表及び収支決算書は適正であると認められる。

2022年4月20日

監事：株式会社タニタ

佐川清志



2021年度 収支決算明細表

収入の部			
科目	金額 (円)	摘要	小計 (円)
前期繰越金	1,075,737	2019年度繰越金	1,075,737
年会費	1,570,000	10,000円×2社	20,000
		50,000円×17社	850,000
		100,000円×7社	700,000
入会金	100,000		100,000
雑収入	0		0
受取利息	0		0
合計	2,745,737		

支出の部			
科目	金額 (円)	摘要	小計 (円)
①会議費	18,424	1. 打合せ時の飲食代	18,424
②広告宣伝費	776,380	1. 全日本交通安全協会バナー広告費用	338,580
		2. パンフレット作成	33,000
		3. HPシステム使用・保守費用	390,500
		4. 展示会備品	14,300
③外注費	179,161	1. 規格翻訳費用一式	179,161
④工具器具備品	418,000	1. 定流筆走時間ガス吐出装置	418,000
⑤通信発送費	11,308	1. 郵便費用（請求書、認定書発送費等）	5,740
		2. さくらインターネット株式会社レンタルサーバー費用	5,568
⑥旅費交通費	25,050	1. 国土交通省訪問等の駐車場代	25,050
⑦支払手数料	2,090	1. 銀行振り込み手数料	2,090
⑧消耗品費	9,076	1. 封筒、コピー用紙、コピー代等	9,076
合計	1,439,489		

第8回定時総会第1号議案 2022年度予算承認に関して

●2022年度 予算額

収入項目	金額
前期繰越金	1,306,248円
年会費	1,560,000円
合計	2,866,248円

●2022年度 予算振り分け項目

支出項目	金額
業務委員会	1,500,000円
技術委員会	1,000,000円
事務局	366,248円
合計	2,866,248円



各委員会及び事務局予算内訳

業務委員会 活動内容		予算金額
1-1	Webサイト管理費	200,000円
1-2	Webサイト改修(コンテンツ拡張)	550,000円
1-3	全日本安全協会HPバナー広告	350,000円
1-4	展示会費用	200,000円
1-7	名刺/ポスター等印刷物	200,000円
合計		1,500,000円

技術委員会 活動内容		予算金額
2-1	規格文書英訳費用	500,000円
2-2	CERI様設備準備費用	500,000円
合計		1,000,000円

事務局 活動予算		予算金額
3-1	会議費	300,000円
3-2	通信発送費、旅費交通費、支払手数料、消耗品費等	50,000円
3-3	レンタルサーバー費用	6,000円
3-4	雑費	10,248円
合計		366,248円



第8回定時総会 第2号議案

2021年4月-2023年3月 中期活動計画（案）

2022年4月22日

日本アルコール検知器協議会 第8回定時総会



アルコール検知器協議会 2022年度会員企業総数

●正会員 24社 (50音順)

- ・株式会社エムシステム・ソリューションズ
- ・株式会社オクト
- ・株式会社オートボックスセブン
- ・株式会社 慶洋エンジニアリング
- ・株式会社コア 関西カンパニー
- ・光明理化学工業株式会社
- ・サンコーテクノ株式会社
- ・株式会社JVCケンウッド
- ・新コスモス電機株式会社
- ・株式会社タニタ
- ・中央自動車工業株式会社
- ・テックウェルインターナショナルジャパン株式会社
- ・テレニシ株式会社
- ・東海電子株式会社
- ・株式会社東洋マーク製作所
- ・ドコモ・システムズ株式会社
- ・ドレーゲルジャパン株式会社
- ・NISSHAエフアイエス株式会社
- ・株式会社 ネモト・センサエンジニアリング
- ・株式会社パイ・アール
- ・株式会社パーマンコーポレーション
- ・フィガロ技研株式会社
- ・前野技研工業株式会社
- ・株式会社ヤナコ計測

●準会員 1社 (50音順)

- ・名鉄 E I エンジニア株式会社

**※4月22日現在
会員総数は25社となります。**

2021年度～2023年度の中期活動計画

会則	活動内容	1年目	2年目	3年目
		2021年	2022年	2023年
(1) 検知器の利用と活用に係る普及と啓発	啓発資料のウェブ拡充	→	→	→
	検知器業界・市場情報のウェブ拡充	→	→	→
	新検定の広報とウェブ拡充	→	→	→
(2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。	外部検定の定着、規格の拡充	→	→	→
	海外規格の動向調査	→	→	→
	JIS化の可否調査	→	→	→
(3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。	現行法令、刑罰の整理とウェブ拡充	→	→	→
(4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。	未接触各業界団体への認知活動	→	→	→
	国土交通省プラン2025 「抜本的な対策による飲酒運転根絶」への対策	→	→	→
	経産省 呼気試験機分科会との連絡、協議	→	→	→
	認定製品助成制度の設置活動	→	→	→
	白ナンバーアルコール検知器義務化に向けた活動	→	→	→
(5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。	アルコール検知器を使った、協議会ならではの教育開発プログラム（協議会認定インストラクター）	→	→	→
(6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。	海外の飲酒運転交通政策調査とウェブ拡充	→	→	→
	飲酒問題シンポジウム調査（T2025開催へ向けて）	→	→	→
	海外の検定機関の調査（訪問か招聘）	→	→	→
(7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。	各都道府県の飲酒運転防止条例、アルコール健康障害対策プログラムへの提言	→	→	→
(8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。	J-BACのITシステム化、WEB充実化	→	→	→

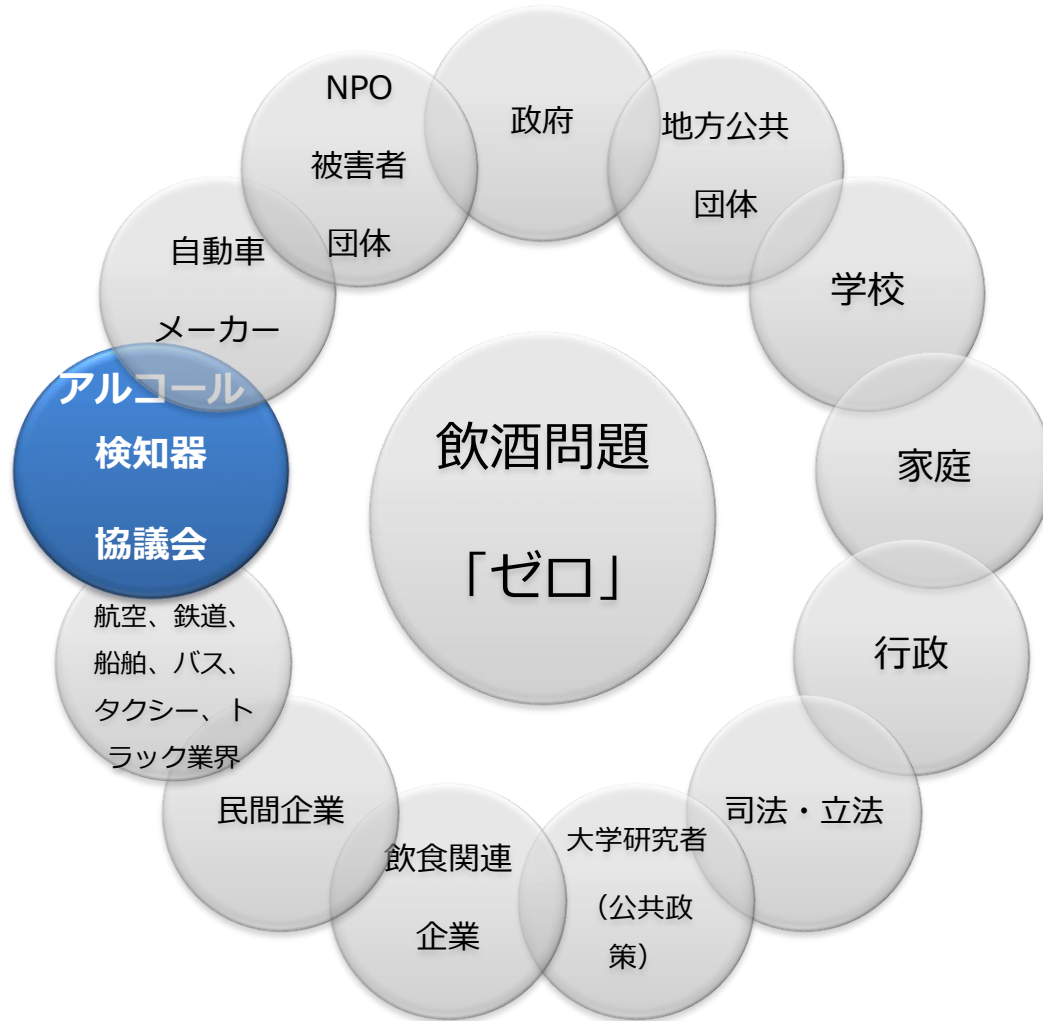
● 第7回総会時にご承認を頂いた
活動内容18項目をそのまま継続致します。



第3号議案
業務委員会2021年度活動報告
(2021年4月～2022年3月)

2022年4月22日

日本アルコール検知器協議会 第8回定時総会

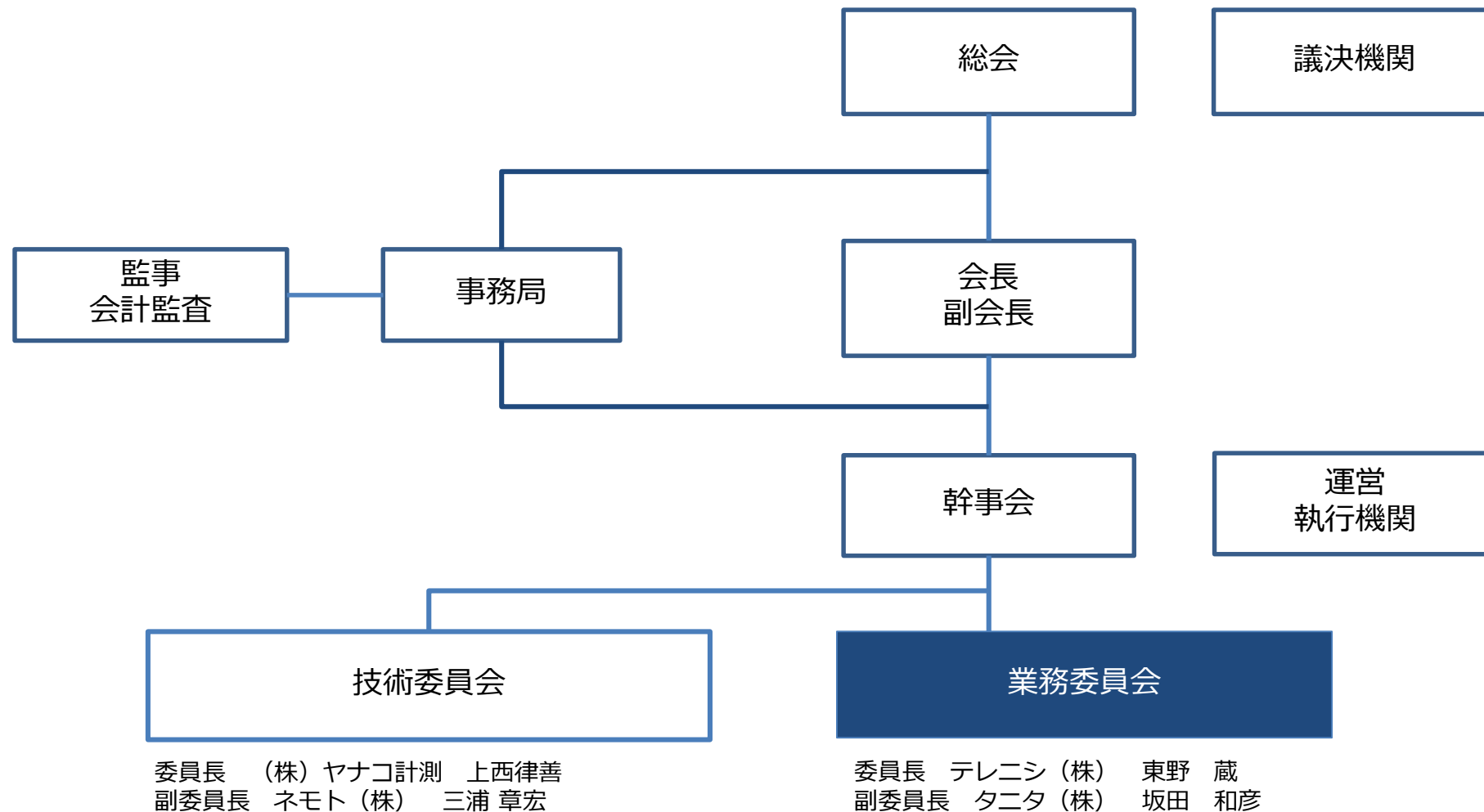


会則第2条（目的）

本会は、アルコール検知器の技術や品質の向上、ならびにアルコール検知器の普及啓発によって業界の地位の向上を図る。

本会は、関係官庁、各団体との連携と会員相互の協調を通じて、アルコールの過剰摂取や短時間での大量摂取等に代表される飲酒問題や自動車等の飲酒運転の根絶に寄与することを目的とする。

本会は、営利を目的としない組織である。



会則 第3条 (活動内容)	業務委員会	技術委員会
(1) アルコール検知器の利用と活用に係る普及および啓発。	○	
(2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。		○
(3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。	○	
(4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。	○	○
(5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。	○	
(6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。	○	○
(7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。	○	
(8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。	○	○

2021年～2023年度の中期活動計画

会則	活動内容	1年目	2年目	3年目
		2021年	2022年	2023年
(1) 検知器の利用と活用に係る普及と啓発	啓発資料のウェブ拡充	→	→	→
	検知器業界・市場情報のウェブ拡充	→	→	→
	新検定の広報とウェブ拡充	→	→	→
(2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。	外部検定の定着、規格の拡充	→	→	→
	海外規格の動向調査	→	→	→
	JIS化の可否調査	→	→	→
(3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。	現行法令、刑罰の整理とウェブ拡充	→	→	→
(4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。	未接触各業界団体への認知活動	→	→	→
	国土交通省プラン2025 「抜本的な対策による飲酒運転根絶」への対策	→	→	→
	経産省 呼気試験機分科会との連絡、協議	→	→	→
	認定製品助成制度の設置活動	→	→	→
	白ナンバーアルコール検知器義務化に向けた活動	→	→	→
(5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。	アルコール検知器を使った、協議会ならではの教育開発プログラム（協議会認定インストラクター）	→	→	→
(6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。	海外の飲酒運転交通政策調査とウェブ拡充	→	→	→
	飲酒問題シンポジウム調査（T2025開催へ向けて）	→	→	→
	海外の検定機関の調査（訪問か招聘）	→	→	→
(7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。	各都道府県の飲酒運転防止条例、アルコール健康障害対策プログラムへの提言	→	→	→
(8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。	J-BACのITシステム化、WEB充美化	→	→	→

2022年度 業務委員会班わけ



WEB/IT班	官公庁班	展示会班	教育班	海外班
細川理恵 (テレニシ)	坂口正一 (サンコーテクノ)	内丸雅之 (中央自動車)	佐川清志 (タニタ)	杉本哲也 (東海電子)
神木宏 (テックウェル)	酒井規光 (中央自動車)	四方行洋 (フィガロ技研)	森田一磨 (東海電子)	
柳谷順子 (NISSHA)	浜本謙 (中央自動車)	三浦章宏 (ネモト)	牛込美沙樹(中央自動車)	
山田克利 (JVCケンウッド)	山崎帆洋 (パイアール)	由岐浩都 (ネモト)		
三井剛正 (中央自動車)	平川希 (パイアール)	濃人晃一 (タニタ)		
	久世浩史 (パイアール)	坂田和彦 (タニタ)		
	星勝範 (JVCケンウッド)	安永渉 (中央自動車)		
		高橋智也 (中央自動車)		
		内丸雅之 (中央自動車)		
		高本健司 (東洋マーク)		
		彌勒地功 (エムエス)		
		吉田寛之 (テレニシ)		
		東野蔵 (テレニシ)		※敬称略

Mission

未接触団体との接触・業界団体との強力な関係作り

●各関連団体への挨拶及び調整

- ・国土交通省
- ・全日本トラック協会
- ・全日本バス協会
- ・義歯安定剤連絡会
- ・日本臨床検査標準協議会 (JCCLS)
- ・全日本安全協会

●白ナンバー義務化に関する活動

- ・警察庁交通局交通企画課への訪問及びヒアリング対応

●幹事会との連携

- ・白ナンバーアルコール検知器使用の義務化に伴う
供給面における会員企業各社のアンケートの実施及び取りまとめ
- ・アルコール検知器供給に関する意見書の準備

Mission

各種展示会出展による認知度向上

2021年度は東京・大阪の展示会へ出展



運輸交通システム（東京）



ブース内説明



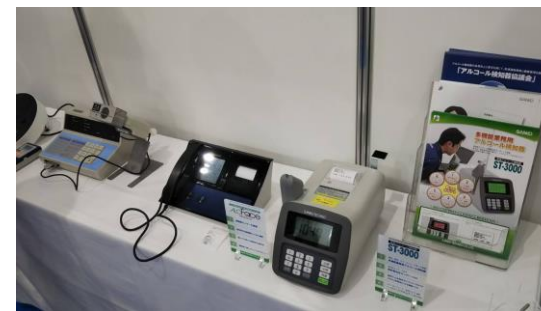
関西物流展（大阪）



検知器の展示①



セミナー対応



検知器の展示②

Mission

展示会班と連携したセミナー活動を実施

展示会班と協力して、展示会出展及び展示会内のセミナーに登壇。

2021年6月2日～4日（3日間）：運輸・交通システムEXPOでのセミナー登壇

- 1日目：事務局_坂口さまが登壇
- 2日目：教育班_佐川さまが登壇
- 3日目：展示会班_坂田さまが登壇



J-BACの認知度向上、検知器普及、協議会の活動、検知器の検定制度の説明を行いました。

■ Zoom等オンライン形式でのセミナー実施

2021年10月8日：一般財団法人日本品質保証機構（JQA）様

JQA様の会議室、設備をお借りして、そこからオンライン形式のセミナーを実施しました。
同時接続は20名程でしたが、当日参加できなかったメンバーは後日、録画により聴講とのことでした。

2022年2月25日：一般社団法人日本スーパーマーケット協会様

会員の食品スーパーマーケット企業の総務部門責任者・担当者など30名程度が参加されました。
セミナー後には、アルコール測定の白ナンバー法令化に伴う悩み、各スーパーマーケットの担当者同士での意見交換も行われておりました。

2022年3月15日：北海道交通安全推進委員会様

昨年同様に、協議会にお声がけいただきセミナーを実施しました。約30社お集まりいただきました。
当日参加できなかったメンバーは後日、録画により聴講とのことでした。

アルコール測定の白ナンバー法令化に関するご質問が増えております。
より一層、検知器の利用、活用に拘わる普及と啓発が必要と感じました。



Mission

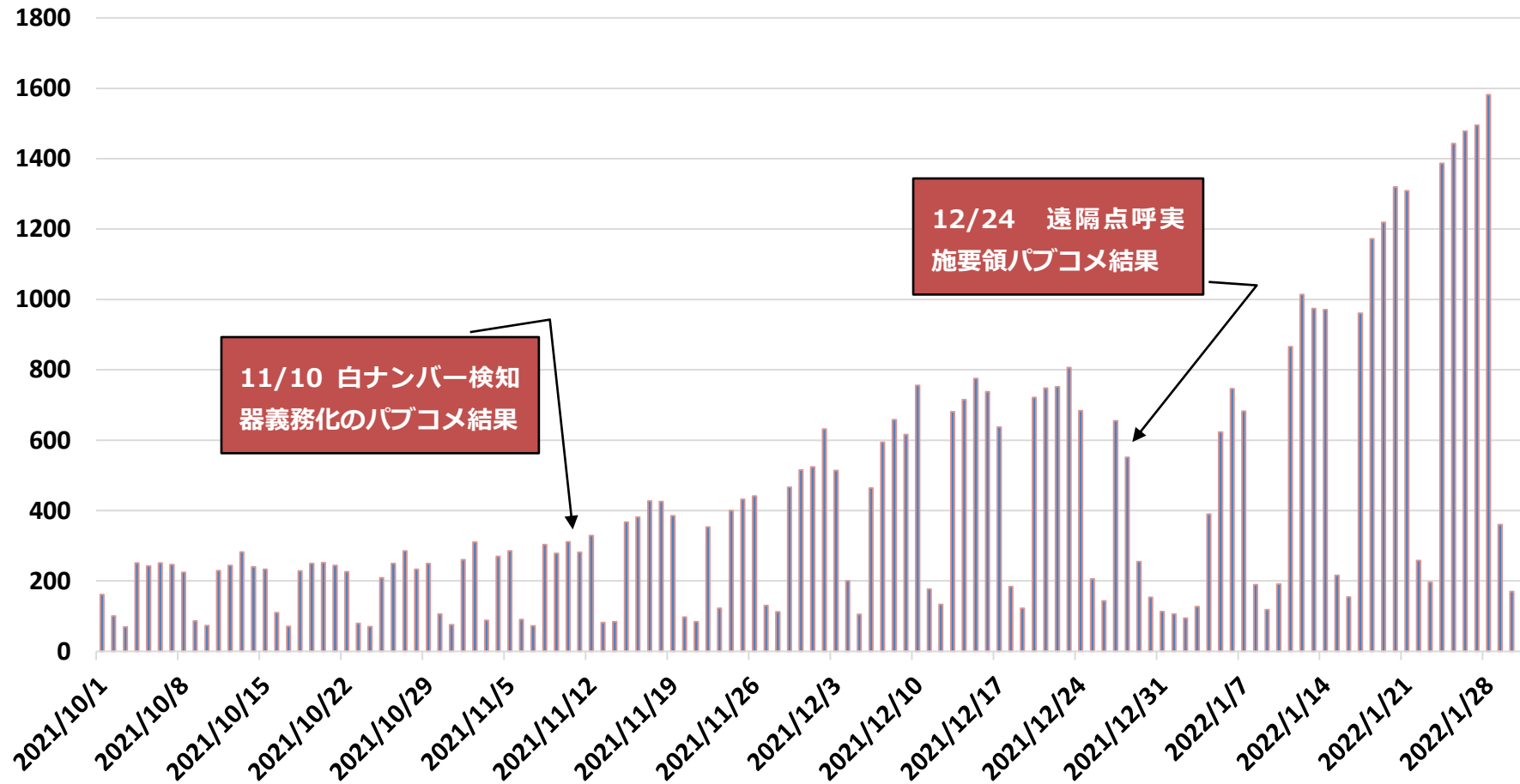
J-BAC公式サイトを通じた情報発信とアクセス増加

J-BAC公式サイト更新履歴

日付	施策	内容
2021.06.29	ウェブ掲載	「第2回 関西物流展」オープニングセレモニーに参加いたしました。
2021.07.13	会員ページ	議事録の追加
2021.07.16	会員団体	会員団体紹介ページに新規会員様2社追加
2021.08.21	認定機器	依頼により1件削除
2021.09.27	認定機器	依頼により、1機種追加掲載（日本語・英語）
2021.12.6	ウェブトラブル対応	eオプティマイズ様に連絡、対応していただいた。また協議会に報告書を提出した
2021.12.15	申請様式変更	検定申請書の修正版への変更と会員への通知
2022.1.22	ウェブ対応	英語サイト非表示
2022.3.3	ウェブ対応	認定機器一覧の導線修正
2022.3.7	ウェブ対応	会員企業紹介ページ掲載
2022.3.28	ウェブ対応	会則の掲載

日付	その他	内容
2021.10.13	報告	ウェブアクセス解析結果報告(2021.4.1~2021.9.30)
2022.2.24	報告	ウェブアクセス解析結果報告(2021.10.1~2022.1.31)

公式サイトアクセス数推移





J-BAC
WEB

アルコール検知器の技術や品質の向上、ならびにアルコール検知器の普及啓発によって業界の地位の向上を図る

1日約425人でクリア

KPI：来訪者数平均200人/日

サイトリニューアル

- ・見やすい配置
- ・導線の見直し
- ・外国語対応

コンテンツ力の強化

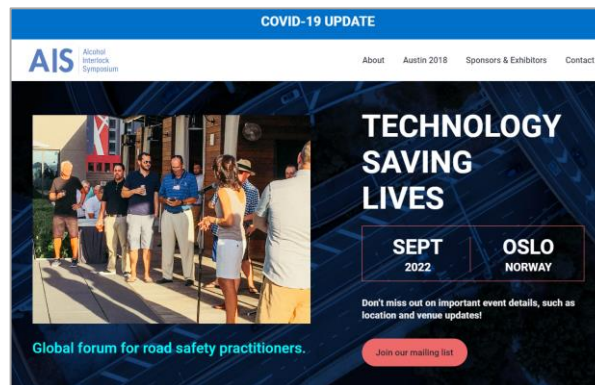
- ・FAQの充実
- ・当協議会の活動情報
- ・特設サイト

会員ページの改善

- ・会員利便性の向上
- ・セキュリティの向上

Mission

海外飲酒運転施策・調査・交流



- 海外の検知器メーカーや飲酒運転政策において特段大きな動きはない。国際会議、展示会系は、欧米を中心に、再開モードになっていると思われる。
- 海外での飲酒運転の件数は、コロナ禍において増加しているのか減少しているのか、明確な統計は出ていないようである。
- 呼気アルコール検知器の、呼気によるウイルス拡散といった類いの報道は見受けられなかった（見つけられていない可能性もある）。

繰り返された凄惨な飲酒運転事故（白ナンバー法改正へ）



八街5人死傷事故

千葉県八街市で昨年6月、下校中の市立朝陽小学校の児童の列に飲酒運転のトラックが突っ込み、児童5人が死傷した。



緑ナンバーはプラン2025でDX推進（遠隔点呼・自動点呼へ）

(2) 制度化に向けた機器要件等の中間とりまとめについて 国土交通省

【遠隔点呼(IT点呼)の対象拡大の方向性】

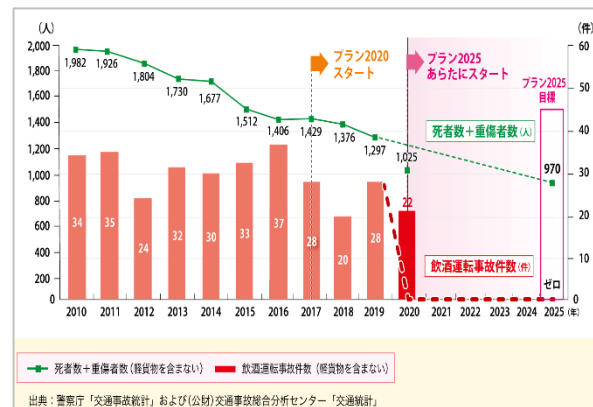
現行の遠隔点呼(IT点呼)は、中継機器を介しても運転者の本人確認等が確実に実行されること、他営業所の運転者に対する点呼であったとしても、点呼時に必要な情報が営業所間で共有され、適切な点呼が行われること等を担保する観点から、法令遵守の意識が高い優良な営業所(行政処分・重大事故が無い、Gマークを保有している等)に限って実施することが認められている。

昨今の技術の進化を考慮すると、今後、高度な点呼機器を使用することで点呼の確実性を担保することが可能になると考えられるところ、高度な点呼機器の使用を遠隔点呼(IT点呼)の実施要件に加える。

<遠隔点呼(IT点呼)における確実性を担保するための要件>

- 営業所の優良性を条件に遠隔点呼の実施を認め
- 点呼機器(中継機器)の使用
- 点呼機器(中継機器)の使用
- 本人確認や情報共有の確実性を担保する高度な点呼機器の使用を条件に、遠隔点呼の実施を認める

現行の遠隔点呼(IT点呼)の要件 **追加を検討する遠隔点呼(IT点呼)の要件**



自動点呼の導入の検討スケジュール 国土交通省

自動点呼の導入

点呼支援機器が点呼における確認、指示項目の一部または全てを代替できるよう、機器の要件を検査。

(運行管理者) → (運転者) → (点呼機) → (点呼機) → (運行管理者)

令和3年度前期: 点呼支援機器の業務後点呼における実証実験を開始。
令和3年度後期: 実証実験の結果から、点呼支援機器に係る認定制度を開始。

検討スケジュール	令和2年度		令和3年度		
	3月	4~6月	7~9月	10~12月	1月~3月
検討会	検討会キックオフ	業務後点呼支援機器の性能評価方法の検討	業務後点呼支援機器の認定制度案の検討	業務後点呼支援機器の認定制度案の検討	業務後点呼支援機器の認定制度案の検討
ワーキンググループ		業務後点呼支援機器の性能評価方法の検討	業務後点呼支援機器の性能評価方法及び性能評価方法の検討		
事業者(実証実験)		業務後点呼支援機器の性能評価方法及び性能評価方法の検討	業務後点呼支援機器の性能評価方法及び性能評価方法の検討		

実証結果の抽出



2021年度も積極的な活動への参加
ありがとうございました。

**第8回定時総会
第3号議案
2021年度
(2021年4月-2022年3月)
技術委員会 活動報告**

2022年4月22日

日本アルコール検知器協議会 第8回定時総会



主な内容

1. 2021年度活動報告
2. 2021年度活動決算報告
3. 今後の取り組みについて

2021年度の取り組みについて

- **外部検定の運用状況の注視**
- **JB20001規格及びISO(JIS)化対応**
- **アルコールガスのトレーサビリティ調査**
- **義歯安定剤連絡会対応**
- **その他HP等からの技術的相談対応**

技術委員会メンバー

登録会社16社42名

株式会社オクト
光明理化学工業株式会社
株式会社JCVケンウッド
新コスモス電機株式会社
株式会社タニタ
中央自動車工業株式会社
東海電子株式会社
株式会社東洋マーク製作所
ドレーゲルジャパン株式会社
NISSHAエフアイエス株式会社
株式会社ネモト・センサエンジニアリング
株式会社パーマンコーポレーション
株式会社パイ・アール
フィガロ技研株式会社
前野技研工業株式会社
株式会社ヤナコ計測

委員長: ヤナコ計測 上西様
副委員長: ネモト 三浦

2022/4/22現在
(会社名のみ・アイウエオ順)

2021年度活動スケジュール

2021年度技術委員会開催日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
技術委員会	●4/16 第七回定期総会 (Web開催) 第一回	●5月27日(木) (Web開催) 臨時技術委員会					●10月13日(水) (Web開催) 第二回			●1月13日(木) (Web開催) 臨時技術委員会	●2月24日(木) (Web開催) 第三回	

●規格(ISO)WG

第一回:7/12

第二回:7/29

第三回:8/6

第四回:9/3

第五回:9/9(CERI様打合)

第六回:9/17

第七回:10/22

第八回:11/25

第九回:12/10

第十回:2/4

第十一回:2/18(CERI様打合)

第十二回:2/18

第十三回:3/4

第十四回:3/11

●JCCLS委員会(ISO)

第一回:6/29

第二回:9/30

臨時:12/8

第三回:2/25(欠席)

11/25のみハイブリッド

それ以外は全てWeb会議にて

2021年度の主な活動実績

1. 外部検定の運用、システムの確立
2. アルコールガスのトレーサビリティ調査
3. JB20001規格及びISO(JIS)化対応
4. 義歯安定剤連絡会対応
5. J-BACに寄せられた技術的問い合わせ対応

外部検定運用

J-BAC認定品

2019年度：7社26機種

2020年度：5社5機種

2021年度：1社2機種

J-BAC認定品

2022年3月時点：8社33機種

-維持審査-

2021年度維持審査-全社対応済み

-OEM申請開始-

1社：1機種対応

検査審査会グループ

登録会社16社

- 株式会社オクト(来年度より)
- 光明理化学工業株式会社(除)
- 株式会社JCVケンウッド(来年度より)
- ①新コスモス電機株式会社
- ②株式会社タニタ
- ③中央自動車工業株式会社
- ④東海電子株式会社
- ④株式会社東洋マーク製作所
- ①ドレーゲルジャパン株式会社
- ②NISSHAエフアイエス株式会社
- ③株式会社ネモト・センサエンジニアリング
- ④株式会社パーマンコーポレーション
- ①株式会社パイ・アール
- ②フィガロ技研株式会社
- ③前野技研工業株式会社
- 株式会社ヤナコ計測(除)

4グループ

申請会社以外に割り振る

- ⇒5月分グループ②対応
- ⇒6月分グループ③対応
- ⇒7月分グループ④対応
- ⇒8月分グループ①対応
- ⇒9月分グループ④対応
- ⇒10月分グループ②対応
- ⇒11月分グループ④対応(新規)
- ⇒12月分グループ①対応
- ⇒1月分グループ③対応(新規⇒取下げ)

外部検定システム(その他)

1. 維持審査運用のルーティン化
2. 申請の短縮化検討
3. OEM申請開始
4. 申請前、申請中の製品に関する取り扱い徹底

JB20001規格及びISO(JIS化)

- 次グレードの規格整備→ JB20001規格策定へ。2019年度規格WG発足
- その後、公益社団法人日本臨床検査標準協議会(JCCLS)よりアルコール測定器のISO化の協力依頼

参加表明メンバー

オクト: 神保様(2021年度より参加)

タニタ: 望月様、金成様、飯田様

東海電子: 杉本様、高木様、黄様

NISSHAエフアイエス: 常深様、柳谷様

フィガロ技研: 河口様

ネモト・センサエンジニアリング: 三浦様(2021年度より参加)

ヤナコ計測: 上西様

光明: 畑(リーダー)

JB20001規格及びISO(JIS化)について

○ ISO(JCCLS)について

2021/2/22: 第二回JCCLS委員会

→ 当初PWI→NPにするために、Form04と規格の目次のみを要求一転、2021年5月までに本文の要求。

→ 時間的に不可能と回答。2021年10月の国際会議に提出するために、8月初旬までに作成要請。

→ ISO/PWI 24436として2年経過したため、今年中にNPに上げないと消滅。

☞ 年度明け早々より規格WGにて議論

JB20001規格及びISO(JIS化)

- 6/30 第一回JCCLS委員会開催 → 進捗報告
 - 8/10 JB20001→ISO最終翻訳化、JCCLSに送付
 - 9/30 第二回JCCLS委員会開催 → 作成文書報告
→ 委員会にてコメント
 1. 規格文書の定格性(規格の記載ルール)の問題を修正
 2. 機器に害する物質内容に対し、更に具体化要求
 - 10月末 修正案をJCCLSに提出
 - 11月初旬 文書の完成度を更に上げる要求
(shall or shouldの使い分け等)
- J-BACがJCCLSのサポートから、JCCLSがJ-BACのサポートに変化
→ 今後の携わりについて幹事会を通し、JCCLSに相談。

JB20001規格及びISO(JIS化)について

- 12/8 JCCLSとの臨時打合せを実施
 - 規格文書の作成について、JCCLSでできるメンバーがいない
→ 作業負担は更に増大することを懸念
 - ISO化案の日本発信。経産省からの助成金のための成果
→ ISO化を進める意欲はあるが、対応は各企業等の委員会メンバー
頼み。事務局は本部との橋渡しのみ

JB20001規格及びISO(JIS化)について

- 1/20 J-BAC幹事会開催
 - 1. JCCLSの対応が芳しくない
 - 経産省からの助成金の成果のため感が強い(日本発信)。
 - 協議会からのイントロ、スコープを、臨床検査の面から削除や修正
 - 規格は協議会が主体で作成が必要。
 - ISO文書ルールについて、規格化対応開始より2年半後に指摘
 - 2. OIML同様、国の機関、警察関連との一体による対応がない。

◎上理由より、JCCLSの協力はお断りを協議会より文書回答

JB20001規格及びISO(JIS化)について

○ JB20001について

- 3/24 JB20001の規格案を作成
- 5/27 JB20001清書版及び報告書案をCERI様に送付
- 9/9 CERI様第1回Web打合せ
規格内容、実施運用、設備の件を協議
- 10/14 CERI様電話問合せ対応
JB20内のJIS規格準拠についてどこまで必要か明示されないと
CERIの品質保証担当の許可がでない
→ JIS規格の確認のためWGメンバーに作業割り振り対応実施

JB20001規格及びISO(JIS化)について

- 11/25 第8回規格WG開催(エフアイエス様+Web)
 1. JIS規格との対応について、全て“参考”という表現に変更
 2. 装置関連の調査
 - フローメーターは、予算内で対応
 - 静電放電装置は、CERI様委託先で対応可能か確認
- 12/1 CERI様に上記修正版規格及び状況報告
- 2/18 CERI様第2回Web打合せ
 - 実施運用、設備の件を協議
- 3/11 CERI様に上記協議内容を報告

アルコールガスのトレーサビリティ調査

○ ドライボンベガスとシミュレーター(ウェットガス)の 今期初期の対応状況

相関関係をCERI様で検討

→ 各企業はトレーサビリティの取れたドライガスでの試験が可能

→ CERI様もより信頼性の高い試験に賛同

参加メンバー

タニタ: 望月様、金成様、森様、飯田様

東海電子: 杉本様、高木様

NISSHAエフアイエス: 常深様、柳谷様

フィガロ技研: 河口様

ヤナコ計測: 上西様(リーダー) 光明: 畑

※今期はコロナ禍の影響のため、活動保留中

義歯安定剤WGの活動

○ 義歯安定剤連絡会

2020年10月：フィガロ技研様と中央自動車様の製品を、小林製薬様に評価用として貸出致しましたが、その後については特に連絡がない。

大学にて義歯安定剤の影響を調べる実験を計画されていたようであるが、コロナの影響で延期されている。そのため2021年度は活動は実施出来ず。

今後上記の評価により、義歯安定剤使用時の呼気チェック法のガイドラインを、関連メーカー様と協議する。

参加メンバー

NISSHAエフアイエス：常深様、柳谷様

フィガロ技研：川畑様、河口様(リーダー)

中央自動車工業：高橋様 光明：畑

J-BACに寄せられた技術的問い合わせ

- 2021年7月：警視庁より飲酒対象者への検査結果の再現性について
 - ・飲酒運転で自爆した運転手の飲酒検査を実施した
 - 1回目は、うがいを実施した後に0.38mg/lを検知。
 - 2回目は、20分後にうがいをせずに、移動中の救急車で再検査を実施したところ0.49mg/lを検知。
- ⇒皆様よりご意見もいただき、誤差の出る説明に対応。
- 2021年7月：J-Bac規格申請に関する質問
 - ・6月の千葉県八街市の事故、「白ナンバー事業者へのアルコール検査義務化」以降、類似の問い合わせが増加。
- ⇒申請の手順、流れの資料を幹事様含み皆様のご協力で作成し、順次対応

J-BACに寄せられた技術的問い合わせ

- 2021年12月：機器の申請状況の確認問合せ
 - ・新規申請前もしくは新規申請中の製品に対して、ユーザーへの販売アナウンスなどに関する認識確認。
 - ⇒協議会としては、HP掲載品のみ認定品として扱うことの再確認。
 - 今後Web班の協力をいただき、申請製品のリスト化、申請中の製品の掲載を対応。
- 2021年12月：規格の英語版に関する問合せ
 - ・HPから取得できる規格の英語版に不備があることが確認された。
 - ⇒今後、国外でのOEM先での開発などの対応が増えることが想定されることもあり、改めてJB10001の確認と、英文化を対応。

2021年度決算

項目	活動内容	予算
規格WG	海外規格文書購入費	10万円
ガスWG	トレーサビリティ評価ボンベ費用	30万円
技術対応	評価備品購入費	5万円
合計		45万円

項目	活動内容	実績
規格WG	規格翻訳費用一式	179,161円
規格WG	定流量定時間ガス吐出装置	418,000円
合計		597,161円

今後の取り組みについて

1. 外部検定の運用の最適化
2. JB20001
 - ・2022年度夏前を目標にトライアル試験の実施
 - トライアルのための実機提供企業の募集
 - ・2022年度秋運用開始を目標
3. JB10001
 - ・修正案の確認 → OKならば再見積もり依頼
 - ・2022年度総会にて予算案決議後、正式発注依頼
 - ・文書確認作業を経て、2022年度夏頃HPに掲載予定
 - ・フローメーターの導入(CERI様-タニタ様にて実施中)
4. ISO化は他機関からのISO化、JIS化に向け、調査検討
5. アルコールガスのトレーサビリティ調査(ReCCS対応)
6. 義歯安定剤連絡会対応
7. その他HP等からの技術的相談対応

2020年度～2024年度の活動計画(案)

項目	活動内容	2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
①自主検定	自主検定合格品有効期限	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
②外部検定	JB10000検定運用	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	JB10001維持審査	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
③規格WG活動	JB20001規格策定	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	ISO/TC272対応	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	CERIとの運用協議	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	CERIの設備整備	■	■	■	■	⊗	⊗	⊗	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	プレテスト	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	JB20001検定運用	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
④ガスWG活動	Dry-WetGas関連評価/評価機関調査等	■	■	■	■	⊗	⊗	⊗	⊗	■	■	■	■	■	■	■	■
	Wet試料液検討評価(ReCCS)	■	■	■	■	⊗	⊗	⊗	⊗	■	■	■	■	■	■	■	■
⑤義歯安定剤WG活動	義歯安定剤連絡会対応	■	■	■	■	⊗	⊗	⊗	⊗	■	■	■	■	■	■	■	■
⑥その他技術的対応	J-BACのHP等からの技術的相談対応	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

■ 作業完了 ■ 作業予定
■ 作業追加 ⊗ 未実施

まとめ

皆様のおかげで、コロナ禍の中、JB10001維持審査が問題なく運用、実施され、外部検定システムが成熟しました。また、JB20001規格が最終段階へ進んでおります。

2022年度は、JB20001の運用へ向けたCERI様との最終協議、運用開始、ReCCS等によるガス標準化、義歯安定剤連絡会を始めとした種々の技術問合せ対応を次期委員長として、随時実施してまいりたいと思います。

2022年度より更なる、会員企業様のご協力が必要となります。今後とも宜しくお願いいたします。



第4号議案

業務委員会2022年度活動計画

(2022年4月～2023年3月)

2021年～2023年度の中期活動計画



会則	活動内容	1年目	2年目	3年目
		2021年	2022年	2023年
(1) 検知器の利用と活用に係る普及と啓発	啓発資料のウェブ拡充	→	→	→
	検知器業界・市場情報のウェブ拡充	→	→	→
	新検定の広報とウェブ拡充	→	→	→
(2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。	外部検定の定着、規格の拡充	→	→	→
	海外規格の動向調査	→	→	→
	JIS化の可否調査	→	→	→
(3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。	現行法令、刑罰の整理とウェブ拡充	→	→	→
(4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。	未接触各業界団体への認知活動	→	→	→
	国土交通省プラン2025 「抜本的な対策による飲酒運転根絶」への対策	→	→	→
	経産省 呼気試験機分科会との連絡、協議	→	→	→
	認定製品助成制度の設置活動	→	→	→
	白ナンバーアルコール検知器義務化に向けた活動	→	→	→
(5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。	アルコール検知器を使った、協議会ならではの教育開発プログラム（協議会認定インストラクター）	→	→	→
(6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。	海外の飲酒運転交通政策調査とウェブ拡充	→	→	→
	飲酒問題シンポジウム調査（T2025開催へ向けて）	→	→	→
	海外の検定機関の調査（訪問か招聘）	→	→	→
(7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。	各都道府県の飲酒運転防止条例、アルコール健康障害対策プログラムへの提言	→	→	→
(8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。	J-BACのITシステム化、WEB充美化	→	→	→

2022年度 業務委員会班わけ案

WEB/IT班	官公庁班	展示会・教育班		海外班
細川理恵 (テレニシ)	坂口正一 (サンコーテクノ)	内丸雅之 (中央自動車)		杉本哲也 (東海電子)
神木宏 (テックウェル)	酒井規光 (中央自動車)	四方行洋 (フィガロ技研)	森田一磨 (東海電子)	
柳谷順子 (NISSHA)	浜本謙 (中央自動車)	三浦章宏 (ネモト)	牛込美沙樹(中央自動車)	
山田克利 (JVCケンウッド)	山崎帆洋 (パイアール)	由岐浩都 (ネモト)		
三井剛正 (中央自動車)	平川希 (パイアール)	濃人晃一 (タニタ)		
永山瑞季 (テレニシ)	久世浩史 (パイアール)	佐川清志 (タニタ)		
榎木彩音 (テレニシ)	星勝範 (JVCケンウッド)	安永渉 (中央自動車)		
		高橋智也 (中央自動車)		
		高本健司 (東洋マーク)		
		彌勒地功 (エムエス)		
		東野蔵 (テレニシ)		
				※敬称略

Mission

未接触団体との接触・業界団体との強力な関係作り

●各関連団体への挨拶及び調整

継続

- ・国土交通省
- ・全日本トラック協会
- ・全日本バス協会
- ・義歯安定剤連絡会
- ・日本臨床検査標準協議会 (JCCLS)
- ・全日本安全協会

●白ナンバー義務化に関する活動

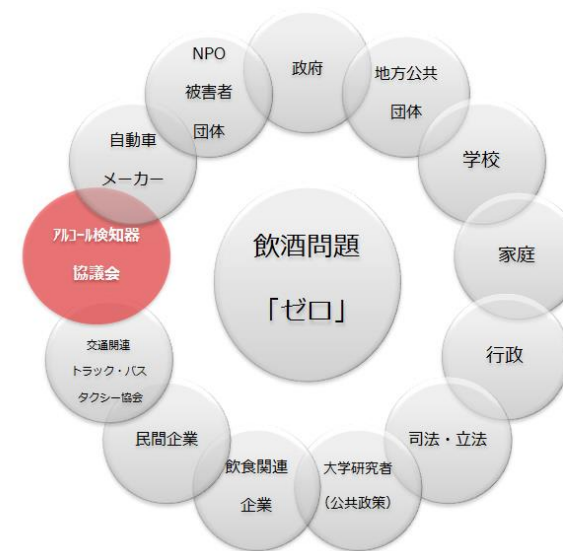
継続

- ・警察庁交通局交通企画課への訪問及びヒアリング対応
- ・安全運転管理者協会へのアプローチ (J-BACチラシ設置)

●幹事会との連携

継続

- ・白ナンバーアルコール検知器使用の義務化に伴う供給面における会員企業各社のアンケートの実施及び取りまとめ
- ・アルコール検知器供給に関する意見書の準備



Mission

教育班と班合併で広報（展示会・セミナー）活動を実施

下記展示会への出展決定（セミナーも開催予定）



5月 運輸交通システムEXPO(東京)



10月 緑十字展(福岡)

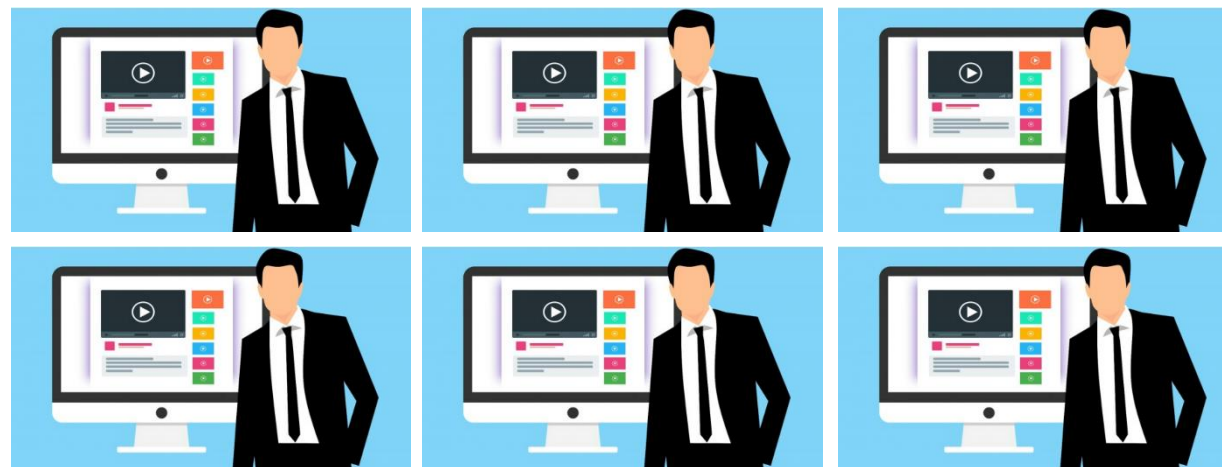
※その他展示会への出展も検討中

Mission

展示会班と合併し更なる連携強化

臨場開催セミナー、オンラインセミナーの対応負荷低減のため、WEB/IT班と連携して動画コンテンツ化を進める。

動画セミナー（一般・会員向け等）



ウェビナー開催も検討



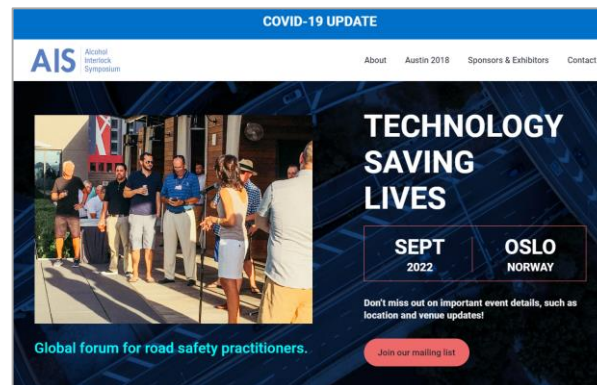
Mission

J-BACの活動状況に基づいたマーケティング・広報活動

- アクセス数KPI 500人/日
- 新着、トピックス
- 業界情報（官公庁）収集
- 業界情報（一般飲酒事案、事件等、社会課題）
- SEO観測
- 各班のコンテンツ整備（リンクメンテ）
- 展示会、教育実施トピック
- 各班のコンテンツ整備（動画・リンクメンテ）
- 統計情報（警察庁、国交省、厚生労働省）

Mission

海外飲酒運転施策・調査・交流



- 海外の検知器メーカーや飲酒運転政策において特段大きな動きはない。国際会議、展示会系は、欧米を中心に、再開モードになっていると思われる。
- 海外での飲酒運転の件数は、コロナ禍において増加しているのか減少しているのか、明確な統計は出ていないようである。
- 呼気アルコール検知器の、呼気によるウイルス拡散といった類いの報道は見受けられなかった（見つけられていない可能性もある）。

2022年度 単年度予算（案）

業務委員会 活動内容		予算金額
1	Webサイト管理費	200,000円
2	Webサイト改修（コンテンツ拡張）	550,000円
3	全日本安全協会HPバナー広告	350,000円
4	展示会費用	200,000円
5	名刺/ポスター等印刷物	200,000円
	合計	1,500,000円

開催	候補日
定時総会（第8回）	2022年4月22日
第1回合同委員会	2022年4月22日
第2回合同委員会	2022年7月頃
第3回合同委員会	2022年10月頃
第4回合同委員会	2023年2月頃

※2022年度は、原則ウェブ開催を中心とする（感染症状況により臨場開催検討）
※各作業班ごとに、随時活動提案および活動結果を会合で報告

**第8回定時総会
第4号議案
2022年度
(2022年4月-2023年3月)
技術委員会 活動計画 (案)**

2022年4月22日

日本アルコール検知器協議会 第8回定時総会



主な内容

1. 2022年度の取り組みについて
2. 2021年～2024年の度活動計画(案)
3. 2022年度活動スケジュール
4. 2022年度予算(案)

協議会目的・活動趣旨

■設立の目的

本会は、**アルコール検知器の技術や品質の向上**、ならびにアルコール検知器の普及啓発によって業界の地位の向上を図る。

本会は、関係官庁、各団体との連携と会員相互の協調を通じて、アルコールの過剰摂取や短時間での大量摂取等に代表される飲酒問題の根絶に寄与することを目的とする。

本会は、営利を目的としない組織である。

■活動主旨

本会は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) アルコール検知器の利用と活用に係る普及および啓発。
- (2) **アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。**
- (3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。
- (4) **アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。**
- (5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。
- (6) **アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。**
- (7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。
- (8) **その他、会の目的を達成するために必要な活動。**

技術委員会メンバー

登録会社16社42名

株式会社オクト
光明理化学工業株式会社
株式会社JCVケンウッド
新コスモス電機株式会社
株式会社タニタ
中央自動車工業株式会社
東海電子株式会社
株式会社東洋マーク製作所
ドレーゲルジャパン株式会社
NISSHAエフアイエス株式会社
株式会社ネモト・センサエンジニアリング
株式会社パーマンコーポレーション
株式会社パイ・アール
フィガロ技研株式会社
前野技研工業株式会社
株式会社ヤナコ計測

委員長:ヤナコ計測 上西様
副委員長:ネモト 三浦

2022/4/22現在
(会社名のみ・アイウエオ順)

2022年度の取り組みについて

- **外部検定の運用状況の注視**
- **JB20001規格運用対応**
- **規格の英文化対応**
- **アルコールガスのトレーサビリティ調査**
- **義歯安定剤連絡会対応**
- **その他HP等からの技術的相談対応**

2021年度～2023年度の活動計画(案)

項目	活動内容	2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
①自主検定	自主検定合格品有効期限																
②外部検定	JB10000検定運用																
	JB10001維持審査																
③規格WG活動	JB20001規格策定																
	ISO/TC272対応																
	CERIとの運用協議																
	CERIの設備整備																
	プレテスト																
	JB20001検定運用																
④ガスWG活動	Dry-WetGas関連評価/評価機関調査等																
	Wet試料液検討評価(ReCCS)																
⑤義歯安定剤WG活動	義歯安定剤連絡会対応																
⑥その他技術的対応	J-BACのHP等からの技術的相談対応																

■ 作業完了 ■ 作業予定
■ 作業追加 X 未実施

2022年度活動スケジュール

2022年度技術委員会開催予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
技術委員会	●4/22 第八回定期総会 (Web開催) 第一回			●7月 第二回			●10月 第三回				●2月 第四回	

●規格WG
随時実施

●ガスWG
随時実施

●義歯WG
随時実施

2022年度予算(案)

項目	活動内容	予算
規格WG	規格文書英訳費用	50万円
規格WG	CERI様設備準備費用	50万円
合計		100万円

まとめ

2022年度も引き続きコロナ禍におけるの審査が続きますが、皆様対応宜しくお願いいたします。

また、白ナンバー義務化により、検定審査の申し込みが増加すると考えられます。

今年度からは、各班による対応を引き続き実施しますが、負担が特定の方に重くならないようにうまく分散できるような仕組みを検討したいと考えております。

JB10001の継続と維持、JB20001の運用開始も念頭に入れ、随時対応したく、宜しくお願いいたします。

幹事会からの報告事項

- ・ 幹事会メンバーの引継ぎについて

2022年4月22日

日本アルコール検知器協議会 第8回定時総会



会 長 : 株式会社タニタ
代表取締役社長 谷田千里

副会長 : 中央自動車工業株式会社
取締役 酒井 規光





幹事

- サンコーテクノ株式会社
機能材事業本部 副本部長 坂口正一
- NISSHAエフアイエス株式会社
執行役員 営業部 部長 常深 剛生
- フィガロ技研株式会社
販売管理部 グループリーダー 西村明久
- 株式会社タニタ
営業戦略本部 営業推進部 営業推進課 佐川 清志

事務局 ●サンコーテクノ株式会社 機能材事業本部 副本部長 坂口正一



アルコール検知器協議会

JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONSORTIUM

アルコール検知器協議会 第8回定時総会

2022年4月22日(金)

2022年度もご協力の程、宜しくお願い致します。

